

平成 2 7 年度

私費外国人留学生(学部留学生)

特 別 入 試 学 生 募 集 要 項



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

〒112-8610

東京都文京区大塚 2 丁目 1 番 1 号

Tel 03 (5978) 5151, 5152 (入試課)

HP <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

目 次

○ 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	
1. お茶の水女子大学アドミッション・ポリシー	1
2. 学部のアドミッション・ポリシー	1
○ 学科の受入方針	2
○ 私費外国人留学生（学部留学生）特別入試学生募集要項	
1. 学部・学科別募集人員	6
2. 出願資格	6
3. 出願期間	6
4. 出願手続	6
(1) 提出書類等	6
※コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内	8
(2) 心身に障害等のある入学志願者の出願	9
(3) 出願方法	9
5. 受験票の送付	9
6. 入学者の選抜方法等	9
7. 日本留学試験で受験を要する科目及びTOEFL試験を要する学科等について	9
8. 本学の入学試験	10
9. 合格発表	13
10. 入学手続等	13
11. 注意事項	13
12. 個人情報及び試験成績の利用について	13
13. 私費外国人留学生（学部留学生）特別入試過去問題	13
14. 大学案内の請求	14
15. 平成28年度私費外国人留学生(学部留学生)特別入試に関する変更の予告	14
○ 入学願書等記入上の注意	15
○ その他の案内	16

○ 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

1 お茶の水女子大学アドミッション・ポリシー

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性の真摯な夢の実現の場であることを使命とし、幅広い教養と高度な専門性を身につけた女性リーダーの育成を目指しています。そのため不断に教育改革を進め、21世紀型文理融合リベラルアーツ教育の導入(平成20年度)に引き続き、平成23年度に複数プログラム選択履修制度を導入して新たな専門教育課程をスタートさせました。お茶の水女子大学では、すべての女性が年齢・国籍などにかかわらず自立した女性として、生涯にわたって多様に活躍できるキャリア形成の場を提供しています。知的好奇心と探究心を抱き、勉学意欲に富んだ学生の入学を期待しています。

2 学部のアドミッション・ポリシー

◆ 文教育学部

人間は、過去から現在に至るまで地球上のさまざまな地域で、言語をはじめとする文化や科学技術を創造し、政治、経済、教育などの諸社会組織を発展させてきました。人間と文化と社会を理解するためには、時間軸と空間軸の上に現代社会を位置づけ、マクロからミクロに至る多次的なアプローチが必要です。

文教育学部は、人間と文化と社会に迫る、人文・社会系の総合的な学部です。人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科の4つの学科からなり、各学科には複数のコースが置かれ、また学科の枠を越えたグローバル文化学環が設けられています。あわせて13のコース・環があり、それぞれが専門教育の各種プログラム(主・強化・副・学際)を提供し、また学生が所属する組織となります。多彩なプログラムと少人数教育によって、専門的に深く、総合的に広く学ぶためのカリキュラムを用意しています。

高校での学習は、その後の人生を「よく生きる」ためのものです。本学部志望者には、高校において文科系の科目はもちろん理数系の科目まで幅広く、同時にどんなに深く学習することを望みます。

多様な領域でのリーダーを目指し、意欲と能力と個性に富んだ皆さんが志望されることを期待します。

◆ 理 学 部

理学部とは、基礎科学の分野を研究対象として、主に自然界の原理や法則の追究を行うところです。

本理学部は、数学、物理学、化学、生物学、情報科学の5学科からなり、少人数ゆえのきめ細かな指導により、高水準の教育・研究を行ってきており、数少ない女子大学の理学部として多くの有為な人材を養成してきました。最近さらに大学院に進む者も多く平均進学率は6割を超えています。

このような教育・研究の場に知的好奇心溢れる女性を受け入れ、次世代のリーダーあるいは中核となる人材を育成し、社会に輩出することを目指しています。

本学部志望者には、高校において、理系科目(数学、理科[物理、化学、生物])を学び、論理的思考力を身につけるようにすること、および、自然科学の基礎知識を習得しておくことはもちろんのこと、文系科目(国語、社会、英語)も幅広く履修し、筋道の立った文章が書けることなどが望まれます。

「推薦入試」、「帰国子女・外国学校出身者特別入試」においては、志望学科に関係する各種コンテストなどで活躍した実績も評価します。

◆ 生活科学部

生活科学部は、人間生活における人間と環境との関係について、多角的な視点から見つめ直し、真のバランスの取れた人間の生活とは何かを探求する学部です。

現代は科学技術の発展や急速な経済成長により、物質的に豊かで、快適な生活を享受できるようになりましたが、その一方、急激な自然環境、社会状況の変化にともなう問題が噴出しています。こうした、問題に対処するためには、自然科学的視点と社会科学的視点の両面から、多面的に問題を考える姿勢を養うことが必要とされます。

生活科学部はこうした要請に応えるために、食の科学と健康、人間と環境、発達と心の健康、人間生活と社会、人間生活と文化についての学科、講座が開設されています。また、それぞれの学科、講座では、少人数の実験・実習・演習により、個別的な教育を行うと同時に、社会生活で役に立つ資格等(栄養士免許、管理栄養士国家試験受験資格、一級建築士受験資格、家庭科教員免許など)の取得を促すカリキュラムも用意しています。

ただし、生活科学部では、それぞれの専門を深めるばかりでなく、文理融合の学部の特性を生かして、他の専門分野にも関心を持ち、多面的で総合的な視点から現実の人間生活の問題に取り組む力を持った、社会の多方面で活躍できる女性リーダーを育成することを目指しています。

したがって、高校におけるすべての科目が、大学での勉強に必要な基礎となりますので、志望学科の別を問わず、家庭科、芸術科、保健体育を含め、オールラウンドの学力を身につけておくことを期待します。

1 学科の受入方針

◆ 文教育学部

【人文科学科】

人文科学科は、人類のさまざまな歩みの中から、未来の英知につながるあらゆる現象を広く文化としてとらえる人間の知の総合学を志しています。深く幅広い知識を修得し、それらに立脚したオリジナルな問いを自ら見つけだし、必要な資料・データをねばり強く収集・整理したうえで、独自の論理を築きあげる力。勉学を続けていく場合でも、社会に出て活躍する場合でも必ず求められるこうした総合的な力を広く養成することが、本学科の目標です。

入学前には、さまざまな教科や科目について幅広く学ぶと同時に、自分の関心を持ったテーマについて自主的に読書や調査を行うことを通じ、知的探求の面白さを経験してきていただきたいと思います。いわゆる「指示待ち」型ではなく、物事を多面的に考えられる柔軟な思考力を持ち、独創的な解に到達しようとする意欲のある方の入学を希望します。とくに留学生には、異なる文化圏で生活・勉学することから掴むもの、そして他の日本人学友へのフィードバックを期待します。

なお、人文科学科には、哲学・倫理学・美術史コース、比較歴史学コース、地理学コースの3つのコースがあり、入学後、自分がなにを学びたいのかを見極め、1年次末に各コース、グローバル文化学環の提供するいずれかの主プログラムを選択します。入学後は一般の学生と同じカリキュラムを受講していくわけですから、それについていくだけの日本語能力と基礎学力が必要となります。

実際の入学試験では、日本留学試験及び本学の学力検査（外国語）の成績、最終出身校の成績証明書、及び口述試験の結果などから総合的に可否を判定します。日本留学試験及び本学の入学試験では、日本語の能力を初めとして、高等学校卒業水準の全般的な基礎学力を見ます。口述試験では、これまで学んできたこと、入学後の勉学の計画と意欲、人文科学科で何を学びたいのかなどについて質問し、それらの問いに的確に回答できるかといった点を評価の対象とします。

【言語文化学科】

皆さんは生まれて以来、家庭や社会での生活の中で自分の母語を操る力を獲得してきました。また学校では、母語に加えて外国語の授業も受けてきたでしょう。そして、同時に、心揺さぶる文学作品にもいろいろと出会ってきたことでしょう。そういった経験の中で言葉や文学の美しさ、不思議さを一度も感じたことのない人はあまりいないだろうと思います。

言葉や文学の美しさへの感動、不思議さへの好奇心は、まだ漠然としたものであるかもしれません。言語文化学科での学習・研究は、それを明確なことで形にし、さらにそれを解き明かしていく方法を皆さんに示していくはずですが、いったんそのような方法に目を開かれたならば、言語も文学もこれまでよりさらに面白く、驚きに満ちたものであることに皆さんは気づくに違いありません。

また、皆さんは言語のみでなく、それを支える各地域の文化や思想についても学ぶことになるでしょう。異なる文化圏から来られる皆さんにとっては、異文化間の交流ということも、興味のあるテーマではないでしょうか。そうした事柄についても、ぜひ本学科で学習してほしいと思います。

私たち言語文化学科は、言葉に愛着を持ち、以上述べてきたような学習・研究に興味を感じ、かつそのための訓練に耐えられるだけの十分な基礎学力と、旺盛な知的好奇心を持った学生を求めます。なお、言語文化学科には、日本語・日本文学コース、中国語圏言語文化コース、英語圏言語文化コース、仏語圏言語文化コースの4つのコースがあります。入学後、自分が何を学びたいのかを見極め、1年次末に、これらのコースの提供するプログラムの中から、主プログラムを決定することになります。

選考は、語学能力と全般的基礎学力を測るために、日本留学試験の点数を参考とし、また外国語の試験、面接による口述試験が課されます。口述試験では、質疑を通して、本学での学習計画などを的確に相手に伝えられるかどうかといったコミュニケーション能力や自己表現力を判断します。さらに最終出身校での成績などを加えて総合的に可否を判定します。

【人間社会科学科】

当学科には、人間の意識や行動の社会的側面や心理的側面を考察したり、人間の発達について教育科学的、総合的に考えるなどの、様々な研究アプローチがありますが、共通しているのは、自分を含めた「人間」に対するあくなき好奇心です。人間に関わる諸問題を学問的に解明したり、そこで得られた知識を実際に役立てていきたいと考える学生の進学を期待します。

なお、人間社会科学科には、社会学コース、心理学コース、教育科学コースの3つのコースがありますが、入学

後、各コースの特徴と自分の関心とを精査検討して、2年次から、いずれかのコース(主プログラム)を選択することになります。

当学科を受験するにあたっては、さまざまな教科や科目について幅広く学んでください。特に、日本語・英語(外国語)・数学は、大学での学習と研究にとってたいへん重要な基礎的能力を育成するために必要です。

このほか社会科学(地理、歴史、公民など)や自然科学(理科)の学習を通じて、人間について深く考える姿勢と能力を身につけた学生を歓迎します。

出願資格には、日本留学試験を受験した者であることを定めています。この日本留学試験によって、日本語能力と、幅広い基礎的な知識・教養を身につけているかどうかを判断します。また入学試験では、大学での研究に必要な不可欠な基礎的能力と日本語能力を身につけた志願者を得るために、外国語の学力検査と口述試験を行います。

【芸術・表現行動学科】

本学科は、人間の芸術及び表現行動としてのパフォーマンスとその学問的研究との両方を、同時に追求しようとする貪欲な人を求めています。本学は小規模ながらも総合大学ですから、その特性を十分に利用して、「自ら」多様な可能性を切り開こうという積極的姿勢が要求されます。

なお、本学科では、学びの専門性を活かすために、複数プログラム選択履修制をとっておりません。受験の際に選択したコースに2年次から所属することになります。

実際の入学試験では、日本留学試験および本学の学力検査(外国語)の成績、最終出身校の成績証明書、及び実技検査の結果などから総合的に可否を判定します。

【舞踊教育学コース】:

本コースは、舞踊を中心にスポーツから日常動作にいたる人間の身体活動や表現について、理論と実践の両面から積極的に研究を進めることのできる、両者のバランスの取れた、エネルギッシュな人材を求めています。

【音楽表現コース】:

音楽は人間の感性に関わるとともに、高度に知的社会的な活動であり、人間の営みに深く根づいています。勉強も実技もきちんとやってみたい、そんな贅沢な悩みを抱えている人にこそ、本コースは開かれています。

※ グローバル文化学環

文教育学部では平成17年度から「グローバル文化学環」という新しいコースを設置しました。この学環は、国際協力やビジネス・学校教育・地域社会など、さまざまな場で、文化の差異を理解し、それを越えて協働できるグローバル時代の新しい市民を育成することを目的にしています。

その特徴は、文教育学部の3つの学科(人文科学科・言語文化学科・人間社会科学科)のいずれの学生も、主プログラムとして選択できることです。また、所属学科のいずれかの副プログラムを履修することで、学際的な学修をおこなうことができます。

この学環での学修を希望する人は、自分の関心や得意分野にそって、受験学科を選んでください。カリキュラムなど、さらに詳しい情報を知りたい人は、本部のホームページにアクセスしてみてください。

◆ 理 学 部

【数 学 科】

数学は、あらゆる現象の背後にある数や図形の永久に変わらない真理を追究する学問です。それを学ぶことで、魂を揺さぶる美しいものや実生活で役に立つものに出会い、また世界を見通すための厳格な論証法を身につけられると考えます。

このような観点から、数学科では主に以下のような目標を持った人を求めます。

- ・教師や研究者のように数学を職業としたい人
- ・数理的な素養を生かして社会を支える仕事につきたい人
- ・とにかく数学に対して意欲を持って勉強したい人

受験生に求めるのは以下のことです。

- ・高校での数学を十分に理解し、大学での講義に必要な数学の知識を身につけている。
- ・文章から数学的な意味を読み取ることができる。
- ・自分の考えを数学的、論理的な文章に表現して相手に伝えられる。

【物 理 学 科】

自ら考えて問題を見つけ出し、自ら考えてこれを解決する学生を希望します。（もちろん、必要になれば教員の適切な助言および指導を受けることができます。）また、豊かな人間性ととともに、他人との協調性に優れた人格が望まれ、忍耐力も必要です。卒業後には物理学の勉学を通して培った、「物事の法則を発見しそれを応用する能力」を各方面で発揮し、社会において指導的役割を果たす女性となることを期待しています。しかしながら究極的には、「物理学を学んで生き生きと充実した人生を送ること」が最も大切と考えています。

【化 学 科】

化学は、原子・分子をなかだちとして自然科学のあらゆる分野と密接に協力して発展するものであり、その領域は数学・物理学の理解が不可欠な分野から、さらに生物学や地球科学の知識の必須な分野まで広がっています。したがって、化学科の志願者は、高校では化学のほかにこれらの基礎となる科目、特に、物理・生物を幅広く履修して、理論的思考力や自然科学の基礎知識をしっかりと体得しておくことが望まれます。また、英語で書かれた文献を読みこなす語学力も要求されますので、高等学校での英語の十分な学習が必要です。入学後には、専門の学習や研究の基盤となる実験能力を養うため、学生実験を重視しています。

これらを踏まえて、入学試験においては、総合的理解力をその評価基準とします。

【生 物 学 科】

生物学では、微生物からヒトまで、多種・多様な“生き物”の複雑で多様な生命現象を研究します。そのためには、いろいろな視点から考える柔軟な思考力とそれを支える幅広い基礎知識が必要です。したがって、高校生時代を通して、理系、文系を問わず、教科科目を幅広く学び、論理的思考や知的好奇心をはぐくんでいることを希望します。また、“生き物”の複雑で多様な生命現象を観察し、“生き物”と忍耐強く対話し、自ら考え、自ら問題を見つけ、試行錯誤しながらこれを解決する意欲とパワーをもつ学生を希望します。“生き物”に関する理解と関心を深め、より豊かな知の財産を築ける人に育つことを期待しています。

【情 報 科 学 科】

情報科学はコンピュータの出現によってその存在と価値が確かめられた「情報」とよばれる概念を、エネルギーや物質と並ぶ世界の主要な構成要素として認識し、その生成、管理、利用に関する原理を探究する新しい学問分野です。今日、その応用は自然科学や工学のみならず、社会科学や人文科学にも及んでいます。

この奥深さを理解し、これまでの成果を学びたい人、さらに今後の進展に積極的に貢献したい人にぜひ進学してきてほしいと思います。情報科学は、これまでの数理科学や自然科学の考え方を偉大な先達として独自の方法論を展開しようとしていることから、広くかつ深い理系のセンスが問われます。情報科学を通じて21世紀の科学技術を支えるのは自分たち女性だと心底思っている人、あるいは思いたい人、あるいはそういわれて「そうなんだ」と今気づいた人を大歓迎します。

◆ 生活科学部

【食物栄養学科】

食物栄養学科は、豊かな食生活や健康な社会の実現に向けて、食物と栄養や健康に関する科学的視点と実践力を身につけた社会のリーダーとなる専門家の育成をめざしています。そのために食物と栄養に関する様々な学問分野において、分子、遺伝子、細胞レベルから人間栄養学的なものまで幅広く教育研究を行っています。

本学科の教育の特徴は、長時間にわたる多数の実験や臨地実習を含む実習が必修となっていることです。実験・実習科目は1、2年より開講され、特に3年生の午後は毎日実験・実習が当てられています。所定単位を取り本学科を卒業すると、栄養士免許が取得できると同時に管理栄養士の国家試験受験資格が得られます。

本学科の教育研究は実験科学を基盤とした上で生活や社会との接点を重視するため、本学科に進学する学生には、忍耐強く実験・実習に取り組めること、自ら考え行動できること、他人とコミュニケーションをとりながら物事を進められることを望みます。高等学校では、理数系の基礎をしっかりと履修すること並びに生活に即した学習を重視することを望みます。

選考では、試験の成績と口述試験の結果及び日本語能力を総合して判定します。

【人間・環境科学科】

人間は、利便性、快適性、安全性などを追求し、身の回りの環境を常に変えて来ました。食糧は豊富になり、暮らしは便利になり、病気が減り寿命も延びました。しかしその反面、環境のあまりに大きく急速な変化に対して人間が適応できず、人類の存続にも影響する様々な問題も生じてきています。これに対して本学科では、「人間にとっての環境、環境にとっての人間」という視点に立ち、人間と環境の相互の働きかけを具体的に評価・設計・提案し、よりよい生活環境を創造するための研究と教育を行っています。加えて建築関連科目を中心に一定の基準に従い履修を行うことで、一級建築士の受験資格を得ることができます。

本学科の柱となる学問分野には、建築設計学、居住環境学、自然人類学、人体生理学、人間工学、福祉工学、環境機能材料学、環境化学、環境衛生工学などがあります。自然科学の好きな人、人間と環境にかかわる基礎的な科学を十分に学び、深く研究してみたい人、専門家として真に健康で豊かな生活を構築するために寄与したいと考えている人を、本学科は歓迎します。志望される方は、高等学校において理数系の基礎をしっかりと履修していることを望みます。本学の試験（数学、理科、外国語）では自然科学をはじめとする幅広い基礎学力を評価します。

【人間生活学科】

人間の生活は、生涯にわたる人間の発達、生活を営むための人間社会のあり方、民族、歴史や伝統、文化などさまざまな面が相互に関連した、複雑で総合的な営みです。高度に複雑化した現代社会においては、この複雑な人間生活の営みを総合的に理解し、人間が生涯を通して生き生きと生活するための条件や社会の仕組み、文化のあり方を明らかにし、それを実現する人材が求められています。

人間生活学科では、こうした豊かな人間生活の実現を担う人材の育成を、相互に関連する3つのアプローチによってめざしています。①人間の生涯発達にかかわる発達心理学・臨床心理学・保育学的理解と実践の連携、家庭や保育あるいは心理臨床などの現場に役立つ理解－発達臨床心理学、②地域社会から国際社会まで、多元的な社会環境を視野に入れ、家族、消費者、女性、高齢者、子ども、制度と政策の問題など、生活と社会及びその関係についての社会科学的理解－生活社会科学、③人間にとって最も身近な服飾と住居、工芸、デザインを中心とする生活造形を対象とし、生活文化の歴史と現在について、美学的・比較文化的・民俗学的理解－生活文化学の3つです。こうした課題に関心があり、問題意識と研究意欲を持っている人、錯綜する現代の生活状況の中で、人間性を重視した社会を築くために貢献したいと考えている人、潤いのある生活を実現しようという熱意をもっている人には、ぜひ人間生活学科で学んでほしいと思います。

選考では、試験の成績と口述試験の結果を総合して判定します。口述試験では質疑を通して、将来の勉学計画や自分の考えを明確に持ち、かつそれを相手に的確に表現できるかといったコミュニケーション能力を評価します。

入学後は一般入試で入学した学生と同様、1年次末に主プログラムを選択することになります。

○ 私費外国人留学生(学部留学生)特別入試 学生募集要項

1. 学部・学科別募集人員

学 部	学 科	募集人員
文教育学部	人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科、芸術・表現行動学科	若干名
理 学 部	数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科	若干名
生活科学部	食物栄養学科、人間・環境科学科、人間生活学科	若干名

2. 出願資格

次の(1)及び(2)の要件をともに満たす者

(1) 日本国籍を有しない女子で、出入国管理及び難民認定法の定めるところにより、在留資格「留学」(又は「留学」に変更できる在留資格)を有する者及び取得できる見込みの者で、次のいずれかに該当する者であること。

- ① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 27 年(2015 年)3 月 31 日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成 27 年(2015 年)3 月 31 日までに満 18 歳に達する者。
- ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成 27 年(2015 年)3 月 31 日に満 18 歳に達する者。
- ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成 27 年(2015 年)3 月 31 日までに満 18 歳に達する者。

(注意) 日本国籍を有しない者であっても日本の高等学校(中等教育学校を含む。)を卒業した者又は同等以上の資格を得た者は、一般入試の入学志願者と同じ扱いになり、この入試に出願できない。

(2) 独立行政法人日本学生支援機構主催の「日本留学試験」を受験した者。さらに、理学部物理学科を志願する者については、「TOEFL 試験」を受験した者。

3. 出願期間

平成 26 年(2014 年)12 月 5 日(金)～12 月 17 日(水) 【必着】

4. 出願手続

(1) 提出書類等

出 願 書 類		摘 要
※ 1	入学願書 ・受験票・写真票	4 cm × 3 cm で出願前 3 か月以内に撮影した写真 2 枚を指定欄に貼付。
2	卒業(見込)証明書、 成績証明書及び 推薦書	出身学校(日本の高等学校に対応する学校)の卒業(見込)証明書、最終出身校の成績証明書及び関係教員の推薦書(総て、日本語訳をつけること。)(写は不可) 【バカロレア資格・アビトゥア資格により出願をする者はその証書の写しを添付する。】

3	作 文	日本語による自筆の作文(様式任意、ワープロ書き不可。1,000 字以内で、留学の目的、専攻分野の内容、将来の計画等について。)
4	受験票の写し	平成 26 年度日本留学試験の受験票の写し
※5	実技関係調査書	文教育学部芸術・表現行動学科志願者のみ本学所定の用紙で提出すること。(注)
6	TOEFL の試験結果の提出方法について (理学部物理学科志願者のみ提出)	理学部物理学科を志願する者は、Official Score を、試験実施機関(E T S)から直接お茶の水女子大学に送付する手続きを取ること。お茶の水女子大学の登録コード番号は 7 2 2 4 です。TOEFL 受験時に、このコード番号により手続きを行なうこと。 なお、有効期間については平成 26 年(2014 年)11 月 30 日までなので、この期間内に、お茶の水女子大学に到着するように手続きをすること。 注)出願時には、受験生本人に送付される試験結果(Examinee Score Report の原本)も提出すること。確認後返送する。
7	住 民 票 記 載 事 項 証 明 書 等	出願時に日本国内に在住している者は、本人部分を証明した市区町村発行の住民票記載事項証明書及び在留カードの写し(表裏両面)を提出。また、出願時に日本国外に在住している者は戸籍謄本又は出生証明書等を提出。
※8	検 定 料 (納 入 済 票)	1 7 , 0 0 0 円 <u>①ゆうちょ銀行以外の金融機関での支払方法</u> (1) 本学所定の振込依頼書により支払うこと。 (2) 振込手数料は本人負担。ご依頼人名義欄は必ず<u>受験生の氏名</u>を記入すること。 (3) 振込依頼書の<u>納入済票(大学提出用)部分</u>のみを切り離し、願書裏面の所定の位置に貼付すること。 ※日本国外から出願する場合も、可能な限り代理人(日本に在住する者)が日本国内からの振込み方法により納入すること。やむをえず海外から送金する場合は、振込銀行手数料(海外銀行分)と支払銀行手数料(日本国内銀行分)の両方が依頼人(出願者)負担となるよう現地で申し出た上で、必ず日本円で振り込むようにすること。その上で、検定料の全額が、出願期間内に大学に到着するように送金すること。海外送金に当たって必要な情報は次のとおり。 銀行名(Bank name):The Bank of Tokyo-MitsubishiUFJ, Ltd. 支店名(Branch):Head Office 銀行住所(Address):2-7-1, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan 受取名義人(Beneficiary):Ochanomizu University 口座番号(Account No.):7876401 SWIFT Code:BOTKJPJT <u>②コンビニエンスストアでの支払方法(8 ページを参照)</u>
※9	受験票返送用封筒	本学所定の受験票返送用封筒に送付先(日本国内の連絡先)を明記して、372 円分の切手(速達料を含む)を貼付すること。
※10	あ て 名 シ ー ル	結果通知等の送付に使用するので、確実に連絡が取れる住所を明記すること。

※印のものは、この募集要項に添付されているものを示す。

(注) 芸術・表現行動学科舞踊教育学コースに出願する者は、**本学所定の健康診断書**を添付してください。健康診断書の提出は、実技検査を安全に行うために健康状況を把握するためのもので、その内容は、**試験の成績には一切影響しません。**

お茶の水女子大学 コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内

下記のコンビニ端末にてお支払いください

各入試の出願期間1ヶ月前より、お支払いいただけます。

1 お申込み

セブン-イレブン マルチコピー機
http://www.sej.co.jp

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON Loppi **MINI STOP Loppi**
http://www.lawson.co.jp http://www.ministop.co.jp

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。

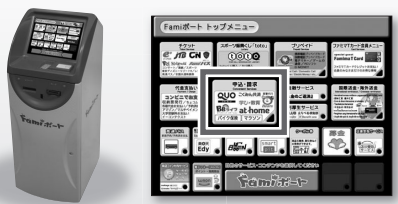


「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大、専門、小・中・高校等お支払い

FamilyMart Famiポート
http://www.family.co.jp

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の「申込・請求(学び・教育)」よりお申込みください。



申込・請求
↓
学び・教育
↓
各種(入学検定料等)お支払いサービス

カルワザステーション
http://www.circleksunkus.jp

最寄りの「サークル・サンクス」にある「カルワザステーション」へ。

TOP画面の「学び・申込」よりお申込みください。



「学び・申込」
↓
各種(入学検定料等)のお支払い

お茶の水女子大学 または お茶の水女子大学大学院 をタッチし、申込情報を入力して「払込票/申込券/受付票」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

コンビニのレジでお支払いください。 出願締切前日の13時までに操作してください。

- 端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi、Famiポート)または「受付票」(カルワザステーション)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**
- お支払い後は「取扱明細書」(マルチコピー機、カルワザステーション)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi、Famiポート)を受け取ってください。

*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料	入学検定料が5万円未満	432円
-------	-------------	------



3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、願書裏面の所定の位置に貼り付け、出願書類とともに郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



【入試に関するお問合わせ先】 お茶の水女子大学 入試課 TEL 03-5978-5151 (学部入試) TEL 03-5978-5697 (大学院入試)
(受付時間) 月曜～金曜 9:00～17:00 *土日・祝日を除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター http://e-apply.jp/ *コンビニ店頭ではお応えできません。

(2) 心身に障害等のある入学志願者の出願

本学に入学を志望する者のうち、心身に障害あるいは疾病があり、受験上の配慮を必要とする者(点字又は代筆による解答を希望する者を含む)については、事前相談を行うので、原則として平成 26 年 11 月 14 日(金)までに本学入試課に申し出てください。その際、「受験上の配慮事前相談申請書」や「医師の診断書」等を提出していただく場合があります。

なお、受験上の配慮を講じる必要はないまでも、修学上の不安等を感じる者も、同様の問い合わせをしてください。

(3) 出願方法

出願書類を一括して、本学所定の出願用封筒に入れ、必ず「書留速達」扱いで本学入試課宛に郵送すること。郵送以外は受け付けないので注意すること。

5. 受験票の送付

- (1) 「お茶の水女子大学受験票」は、「受験者心得」とともに、平成 27 年(2015 年)2 月 12 日(木)頃発送する予定。

なお、2 月 16 日(月)を過ぎても到着しないときは、入試課へ問い合わせること。

- (2) 受験の際は、「お茶の水女子大学受験票」及び「平成 26 年度日本留学試験受験票」を必ず持参すること。

6. 入学者の選抜方法等

志願者(理学部物理学科志願者を除く。)に本学の入学試験を課し、その結果と日本留学試験成績及び最終出身校の成績証明書等の提出書類の内容を総合して合格者を判定する。

なお、理学部物理学科を志願する者には、本学の入学試験は課さず、日本留学試験、TOEFL 試験及び最終出身校の成績証明書等の提出書類により合格者を判定する。

7. 日本留学試験で受験を要する科目及び TOEFL 試験を要する学科等について

- (1) 日本留学試験で受験を要する科目等

本学を受験するものは、下表に示す平成 26 年度日本留学試験を受験していなければ、本学を受験しても入学許可は得られないので、十分に注意すること。

学 部	学 科	受験を要する科目							成績利用	
		日本語	総合科目	数学	理 科			科目選択		出 題 語
					物理	化学	生物			
文教育学部	全 学 科	○	○	1又は2					日本語	6月／11月
理 学 部	数 学 科	○		コース2				2科目自由選択	日本語	6月／11月
	物 理 学 科	○		コース2	○			他1科目自由選択	日本語	6月／11月
	化 学 科	○		コース2		○		他1科目自由選択	日本語	6月／11月
	生 物 学 科	○		コース2			○	他1科目自由選択	日本語	6月／11月
	情 報 科 学 科	○		コース2				2科目自由選択	日本語	6月／11月
生活科学部	食物栄養学科	○		コース2				2科目自由選択	日本語	6月／11月
	人間・環境科学科	○		コース2				2科目自由選択	日本語	6月／11月
	人間生活学科	○	○	1又は2					日本語	6月／11月

[注] 1. 「平成 26 年度日本留学試験」の 6 月または 11 月の成績を利用するので、利用してほしい受験回数
数の受験番号を願書に記入してください。

2. 数学について、文教育学部及び生活科学部(人間生活学科)では、コース 1 又はコース 2 のいずれかを受験してください。

(2) TOEFL (Test of English as a Foreign Language) 試験を要する学科等について

① 対象者

理学部物理学科志願者のみ

② 試験結果の提出方法

Official Score を、試験実施機関(ETS) から直接お茶の水女子大学に送付する手続きをとること。

お茶の水女子大学の登録コード番号は 7224 です。学部別のコード番号はありません。TOEFL 受験時に、このコード番号により手続きを行えば、試験後に、直接お茶の水女子大学へ試験結果が送付されます。Writing Section (essay) においてタイプ入力した場合は約2週間後に、手書きの場合は約5週間後に ETS から発送されます。

TOEFL 受験時にお茶の水女子大学への送付手続きを行わなかった場合には、後日 ETS の定めにしたがって Official Score の送付手続きを取ってください。

③ 有効期間

2014 年 4 月 1 日以降 2014 年 11 月 30 日の間にお茶の水女子大学に到着したものを有効とする。

8. 本学の入学試験

(1) 試験期日 平成 27 年 (2015 年) 2 月 25 日 (水)、26 日 (木)

(2) 学力検査教科・科目

志望する学部・学科		出題教科	出題科目(出題範囲)
文 教 育 学 部	人 文 学 科	外国語	英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング
	言 語 文 化 学 科	外国語	英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング
	人間社会科学科	外国語	英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	外国語	英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング ※上記学力検査のほか、実技検査を行う。11～12 ページ(3)を参照
理 学 部	数 学 科	数学 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング
	物 理 学 科		個別学力検査は課さない。上記 7. (2)を参照
	化 学 科	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 化学基礎・化学と、 物理基礎・物理、生物基礎・生物から1 英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング
	生 物 学 科	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 生物基礎・生物と、 物理基礎・物理、化学基礎・化学から1 英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング
	情 報 科 学 科	数学 数学・理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 数学Ⅲ、物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から2 英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング
生 活 科 学 部	食 物 栄 養 学 科	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1 英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング
	人間・環境科学科	数学 理科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1 英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング
	人 間 生 活 学 科	外国語	英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング

〔注〕数学の出題範囲： 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（場合の数と確率、整数の性質、図形の性質）、数学B（数列、ベクトル）

(3) 実技検査

○ 芸術・表現行動学科「舞踊教育学コース」志望者に次の検査を行う。

1 必須課題

舞踊・スポーツに必要な身体支配能力をみるための基礎運動

2 選択課題

下記のア、イのいずれかを選択すること。

ア. 舞踊（下記の①と②を行う。）

- ① 既成作品：モダンダンス、バレエ、日本舞踊、民族舞踊、マイム、新体操などの表現領域から作品を自由に選択し、1分以内に演じる。自作・他作どちらでも可。

＜使用する音源について＞

使用する音源は予めCD-Rに録音（書き込み）し、持参すること。

＜録音（書き込み）に関する注意事項＞

- ・CD-Rへの録音（書き込み）はWAVやAIFF、MP3、WMAなどのファイルを記録する「データCD形式」ではなく、一般の音楽CDと同じ「オーディオCD（CD-DA）形式」で行うこと。
- ・パソコンではなくCDレコーダーで録音する場合は、最後に必ずファイナライズをすること。ファイナライズをしていないCD-Rは他の機器では再生不可能。
- ・録音（書き込み）をしたCD-Rは、必ずラジカセやミニコンボなど複数のCDプレーヤーで再生できることを確認の上、持参すること。

- ② 創作：課題は当日提示する。

イ. スポーツ（下記の①から③の全種目を行う。）

- ① バレーボール
- ② バスケットボール
- ③ バドミントン

・ 実技検査に持参するもの

- ① 体育館シューズ(全受験生)
- ② 各自選択課題に必要な服装、用具、靴 等
- ③ 音源(「選択課題 ア. 舞踊」選択受験生のみ)
- ・「選択課題ア.舞踊」の試験場の床はリノリウムである。松脂の使用は不可。また、タップダンスなどで底の硬い靴を使用する場合は、こちらで用意した2m四方の板の上で行う。
- ・「選択課題イ.スポーツ」の試験場はフローリングである。
- ・「選択課題ア.舞踊」の試験場の高さは2m76cmと低いいため、新体操等での手具を投げる演技は不可。

○芸術・表現行動学科「音楽表現コース」志望者に次の検査を行う。

- 1 ソルフェージュ：以下のaとb
 - a. 聴 音（単旋律、及び2声体）
 - b. 新曲視唱
 - 2 演奏実技：以下のa、b、c
 - a. 声 楽：イタリア古典歌曲（原語）の中から任意の1曲を演奏すること。
 - b. ピアノ：以下の①と②をこの順番で演奏すること。
 - ①音階（ハノン39番に準拠。全調より当日抽選によって各自の課題調（長調とその平行調）を決定。長調は繰り返しなし、短調は和声的・旋律的音階を各1回演奏すること。）
 - ②J. S. バッハの《インヴェンション》または《シンフォニア》から任意の1曲
 - c. 以下の①または②のいずれかを選択すること。
 - ①声楽：日本歌曲、または、アリア（原語・原調）か外国歌曲（原語）の中から任意の1曲を演奏すること。
 - ② ピアノ：ベートーヴェンのピアノソナタの中から任意の1曲の第一楽章を演奏すること。
- ・演奏実技は、すべて暗譜で行うこと。
 - ・声楽の演奏実技（a、及び、c①）について：**受験者は必ず伴奏用楽譜を提出すること。**
 - ・楽譜には氏名を明記し、出願書類と共に送付すること。なお、伴奏用楽譜は返却しない。

(4) 口述試験 各学部（理学部物理学科は除く。）とも口述試験を行う。

(5) 入学試験日時割

		平成27年2月25日(水)		平成27年2月26日(木)	
文教育学部	人 文 科 学 科 言 語 文 化 学 科 人 間 社 会 科 学 科	/	外 国 語 13:00 ～ 14:40	/	口述試験 14:00～
	芸術・表現行動学科 舞踊教育学コース				
	音 楽 表 現 コー ス				
理 学 部	数 学 科	数 学 共 通 10:00 ～ 11:40	外 国 語 13:00 ～ 14:40	数 学 10:00～12:00	口述試験 14:00～
	化 学 科			化学・選択(物理、生物) 10:00～13:00	
	生 物 学 科			生物・選択(物理、化学) 10:00～13:00	
	情 報 科 学 科			選択(数学、物理、化学、生物) 10:00～13:00	
生 活 科 学 部	食 物 栄 養 学 科	数 学 10:00 ～ 11:40	外 国 語 13:00 ～ 14:40	選 択 (物理、化学、生物) 10:00～11:30	口述試験 14:00～
	人 間 ・ 環 境 科 学 科				
	人 間 生 活 学 科	/		/	

※ 受験上の注意等については、受験票送付の際に同封する。

9. 合格発表

平成 27 年(2015 年)3月8日(日)正午(予定)

本学南門掲示板に合格者の受験番号を掲示をするとともに、合格者には「合格通知書」を郵送する。
なお、本学入試課ホームページにも合格者の受験番号を掲載する予定である。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

10. 入学手続等

入学手続は入学手続書類を郵送により行う。手続方法についての詳細は、合格者に送付する入学手続関係の案内に記載されている。

(1) 入学手続期間

入学手続書類郵送受付期間 平成 27 年 3 月 9 日 (月) から 3 月 15 日 (日) 必着

(注) 所定の期日までに手続きをしない者は、入学を辞退した者として取り扱う。

(2) 手続事項

提出書類	お茶の水女子大学受験票
入 学 料	282,000 円 (予定額)
授 業 料	年額 535,800 円 [前期分 267,900 円] (予定額) (注 1) 前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4 月 1 日から 5 月 31 日までの間に納入することになる。 (注 2) 入学手続終了者が 3 月 31 日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。 (注 3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができる。 (注 4) 入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合に、改定時から新授業料が適用されるので留意すること。

11. 注意事項

- (1) 提出書類に不備不足等がある場合は受理しない。また、いったん受理した書類は返却しない。
- (2) 既納の検定料は、いかなる理由があっても返還しない。
- (3) 可否に関しての電話による問い合わせには応じない。

12. 個人情報及び試験成績の利用について

- (1) 大学が取得した氏名、生年月日、住所、成績及び学修状況等の個人情報は、入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(学生証の発行、健康管理、授業料免除、奨学金の選考等)及び授業料等に関する業務を行うために必要な範囲内で利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試の改善や志願動向の調査・分析及びこれらに付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。

13. 私費外国人留学生(学部留学生)特別入試過去問題

過去問題は本学入試課ホームページに掲載していますので、参考にしてください。

入試課ホームページURL <http://www.ao.ocha.ac.jp/>

14. 大学案内の請求

各学部・学科の紹介等は、「お茶の水女子大学大学案内」の冊子に記載されています。テレメールで請求できます。インターネット(携帯電話・パソコン) <http://telemail.jp> からか、電話(050-8601-0101)にアクセスしてください。そこで、「大学案内」の資料請求番号「562372」をプッシュまたは入力し、あとはガイダンスに従って登録してください。

また、入試課ホームページ (<http://www.ao.ocha.ac.jp/>) から請求できます。

なお、テレメールでの請求に関しては、テレメールカスタマーセンター(電話 050-8601-0102) (9:30～18:00)にお問合せください。

15. 平成 28 年度私費外国人留学生(学部留学生)特別入試に関する変更の予告

平成 28 年度私費外国人留学生(学部留学生)特別入試に係る学力検査科目は下記のとおりとします。

学力検査教科・科目

志望する学部学科		出題教科	出題科目(出題範囲)
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	言 語 文 化 学 科	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	人間社会科学科	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	芸術・表現行動学 学 科	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ ※学力検査のほか、実技検査を行う。11～12 ページ(3)を参照
理 学 部	数 学 科	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B
		外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	物 理 学 科		個別学力検査は課さない。10 ページ(2)を参照
	化 学 科	数学理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 化学基礎・化学と、 物理基礎・物理、生物基礎・生物から1
		外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	生 物 学 科	数学理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 生物基礎・生物と、 物理基礎・物理、化学基礎・化学から1
		外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
生 活 科 学 部	食 物 栄 養 学 科	数学理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1
		外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	人 間 ・ 環 境 学 科	数学理科	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B 物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1
		外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ
	人 間 生 活 学 科	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ

[注] 数学の出題範囲: 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A(場合の数と確率、整数の性質、図形の性質)、数学B(数列、ベクトル)

○ 入学願書等記入上の注意

1. 日本国内の連絡先

本学からの連絡、受験票の送付、合格通知等は、すべてこの住所あてに行う。確実に連絡できる場所を記入すること。

電話は、呼び出しでもよいから、番号と呼出先を書くこと。

別添の「あて名票（合格通知用）」も記入すること。

2 出 願 資 格

A欄 学校教育における12年の課程修了（見込）者は、小学校（初等教育）入学年月日から、最終学歴の修了（見込）年月日までを記入すること。

B欄 A以外の資格により出願する者は、その資格試験等の名称、及び資格取得年月日を記入すること。

3 志望学科等

(1) 文教育学部志願者

○ 入学願書・写真票・受験票の志望学科欄には、次に示す名称で記入すること。

学 科	人文科学科	言語文化学科	人間社会科学科	芸術・表現行動学科
-----	-------	--------	---------	-----------

○ 芸術・表現行動学科を志望する者は、コース欄にも次に示す名称で記入すること。

コース	舞踊教育学コース	音楽表現コース
-----	----------	---------

(2) 理学部志願者

○ 入学願書・写真票・受験票の志望学科欄には、次に示す名称で記入すること。

学 科	数学科	物理学科	化学科	生物学科	情報科学科
-----	-----	------	-----	------	-------

(3) 生活科学部志願者

○ 入学願書・写真票・受験票の志望学科欄には、次に示す名称で記入すること。

学 科	食物栄養学科	人間・環境科学科	人間生活学科
-----	--------	----------	--------

4 写 真

(1) カラーでも白黒でもよい。

(2) 単身・正面向き・上半身、縦4cm×横3cm、提出前3か月以内に写したもの。

(3) メガネ使用者は、メガネ着用のこと。（写真票と受験票は同じ写真を貼る。）

5 選 択 科 目

(1) 太枠内に各自の受験する科目に赤で○印をつける。届出後の変更は認めない。

6 そ の 他

(1) 太枠内のみ記入すること。

(2) 受験番号欄には記入しないこと。

(3) 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消し、訂正すること。

(4) 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類の変更、返却及び検定料の払戻しは行わない。

○ その他の案内

奨学金、入学料免除、授業料免除、学生寮等

1. 奨学金 (本学 HP から情報が見られます)

本学独自の奨学金として“みがかずば”奨学金(予約型奨学金)、学部成績優秀者奨学金があります。

“みがかずば”奨学金は、お茶の水女子大学へ入学を希望する受験生に対して、入学後の生活の目処をたてていただくことを目的としたものです。入試出願前に奨学金を申請していただき、内定した方は入試合格・入学後に所定の手続きを取ることで、奨学生として採用されます。

学部成績優秀者奨学金は、学部1・2年次から引き続き在学する本学学部3年生(中途に休学期間がない者に限る。)のうち、1・2年次の成績等が特に優秀と認められた者に授与されます。

他に本学に設置された保育所を利用する学生に保育料の一部を援助する育児支援奨学金があります。これらを希望する者は、学生・キャリア支援課(Tel03-5978-5148)に照会してください。

人物・学業ともに優秀でかつ経済的理由により修学に困難があると認められる者には選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。現在、第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子)の2種類があります。新たに貸与を希望する者は4月中に募集の掲示を行いますので学生・キャリア支援課に照会してください。

外国人留学生の奨学金については、国際課(Tel03-5978-5143)に照会してください。

2. 入学料免除と授業料免除 (本学 HP から情報が見られます)

注意事項 入学料及び授業料を納付済の者は免除・猶予の対象となりません。

1) 入学料免除の制度と申請資格について

①入学料免除の対象者

次のa、bに該当する特別な事情により納付が著しく困難であると認められる者。

a 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が死亡し、または本人若しくは学資負担者が風水害等の災難を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者

b aに準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

②免除額について

入学料の免除が必要と認められた者については、納付すべき入学料の全額または半額を免除します。

不許可となる場合もあります。

③申請時期

一般入試前期日程合格者の入学手続期間内(3月中旬)に所定の申請を行った者について選考をします。また、入学料徴収猶予(延納)の制度もあります。猶予については3)を参照してください。

2) 授業料免除の制度と申請資格について

①授業料免除の対象者

経済的理由により、授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。

②免除額について

授業料の免除が必要と認められた者については、納付すべき授業料の全額または半額を免除します。

不許可となる場合もあります。

③申請時期

免除は年度を2期に分け半期分ごとに選考をします。(申請時期は3月と9月)

3) 入学料及び授業料の徴収猶予と申請資格について

①徴収猶予の対象者

経済的理由により、入学料または授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。または、次の

a、bに該当する特別な事情により納付が著しく困難であると認められる者。

a 本学学生またはその学資負担者が災害を受け、納付困難と認められる場合

b その他やむを得ない事情があると認められる場合

②猶予期間について

入学料または授業料の徴収猶予が必要と認められた者については、9月30日まで猶予されます。(9月30日が土、日祝日の場合は、直前の平日までとなります。)

③申請時期

入学料徴収猶予 一般入試前期日程合格者の入学手続期間内(3月中旬)

授業料徴収猶予 3月1日～4月10日(4月10日が土、日祝日の場合は直前の平日までとなります。)

3. **学生寮** (本学 HP から情報が見られます)

本学には、学部生の入居できる以下の学生寮がありますが、入居希望者が多数の場合は選考を行います。(例年 1.7 倍程度の倍率)

本学ホームページには写真付きで紹介がありますので、そちらもご覧ください。

平成 27 年度 入寮申請日程(学部生共通)

寮名称	対 象	申請期間	結果発表	入寮予定日
国際学生宿舎	日本人(新入生) AO・推薦・帰国・編入	2月2日(月) ～2月26日(木)	3月12日(木) 正午予定	3月31日(火) 4月1日(水)
	留学生			
お茶大 SCC	日本人(新入生) AO・推薦・帰国			
	学部留学生			

寮名称	所在地	定員	居室	食事	寮費(1か月)	対象学生
国際学生宿舎	板橋区仲町	399 人	個室	な し	寄宿料 4,700 円 その他合計約 12,000 円	学部生 留学生
お茶大 SCC	文京区大塚	50 人	個室 (ハウス)	な し	寄宿料 30,000 円 他、光熱水費等負担	学部 1, 2 年生 (留学生含む)

※寄宿料については平成 27 年度以降値上げになる可能性があります。

4. **入学科・授業料免除と学生寮の申請書類について**

(1) 申請書の入手方法について

以下のいずれかの方法により、申請書類を入手してください。

1. お茶の水女子大学ホームページからダウンロードする(推奨)

2. 郵送で入手する

合格発表後に郵送する「入学試験合格者への連絡事項」の巻末にある別紙「入学科免除(授業料免除)等申請書類請求書」に所要事項を記載し、切手を貼った返信用封筒(角形2号 33cm×24cm)を同封のうえ請求してください。

請求する封筒左下には「〇〇関係書類請求」と朱書きしてください。

返信用封筒に貼る切手の金額は以下の通り。

請 求 資 料			切 手
入学科・授業料免除			250 円
学 生 寮	お茶大 SCC	} いずれか一つ	205 円
	国際学生宿舎		
	お茶大 SCC	} 両方	250 円
	国際学生宿舎		

※ 入学科・授業料免除資料および学生寮資料の両方を請求する場合は、請求期間が異なるので、それぞれ封筒を用意し、切手を貼付してください。

申請書類請求期間

学生寮:平成 27 年1月9日(金)～平成 27 年2月 18 日(水)

入学科及び授業料免除:平成 27 年2月 1 日(日)～平成 27 年3月 20 日(金)

※ダウンロードはいずれも申請期間の最終日まで対応しています。

(2) 問い合わせ先及び請求先

学生・キャリア支援課 入学科免除・授業料免除・学生寮担当 Tel 03-5978-2646

メールアドレス gakusei@cc.ocha.ac.jp

5. **アパート等の紹介**

大学周辺のアパート等の情報については、いつでも学生・キャリア支援課で資料を閲覧することができますが、物件数等は必ずしも十分とはいえないので、親戚知人等の安心できる住居を確保するよう心掛けてください。また、本学の生協も民間の業者と提携して、学生向けの物件の紹介を行っています。

6. お茶の水女子大学交通案内

最寄り駅等	地下鉄 丸ノ内線	茗荷谷駅 から 徒歩 約7分
	地下鉄 有楽町線	護国寺駅(5番口)から 徒歩 約8分
	都営バス	大塚2丁目停留所前

◎ J R 池袋駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・池袋駅〔新宿、荻窪方面行〕	——約5分——→	茗荷谷駅 下車
有楽町線・池袋駅〔新木場方面行〕	——約4分——→	護国寺駅 下車

都営バス利用の場合

池袋駅東口乗車〔東京ドームシティ行〕	——約20分——→	大塚2丁目停留所下車 (都02乙番)
--------------------	-----------	-----------------------

◎ J R 大塚駅から

都営バス利用の場合

大塚駅南口乗車〔錦糸町駅前行〕	——約10分——→	大塚2丁目停留所下車 (都02番)
-----------------	-----------	----------------------

◎ J R 東京駅又は J R 御茶ノ水駅から

地下鉄利用の場合

丸ノ内線・東京駅〔池袋行〕	——約5分——	御茶ノ水駅	——約6分——→	茗荷谷駅下車
---------------	---------	-------	----------	--------

